

第53回九州地区私学教育研修会

# 実施案内

令和8年度  
長崎大会

会期 令和8年7月30日（木）～31日（金）

会場 出島メッセ長崎

主催 一般財団法人 日本私学教育研究所  
主管 九州地区私立中学高等学校協議会  
長崎県私立中学高等学校協会  
後援 日本私立中学高等学校連合会

# 目 次

1	大会役員・実行委員一覧	2
2	実施要項	3
3	全体会	4
4	私学の魅力を考える研究部会	5
5	ことばで導く教育部会	7
6	メンタルを支える教育部会	9
7	大会誌編集委員会	11
8	大会参加のご案内	12

# 大会役員・実行委員一覧

## 【大会役員】

会 長	小 山 康 直	九州地区私立中学高等学校協議会 会長 大分県私立中学高等学校協会 会長
副 会 長	八 尋 太 郎	福岡県私学協会 会長
〃	篠 塚 周 城	佐賀県私立中学高等学校協会 会長
〃	菅 沼 宏 比 古	長崎県私立中学高等学校協会 会長
〃	竹 下 文 則	熊本県私立中学高等学校協会 会長
〃	後 藤 洋 一	宮崎県私立中学高等学校協会 会長
〃	原 田 賢 幸	鹿児島県私立中学高等学校協会 会長
〃	富 里 一 公	沖縄県私立中学高等学校協会 会長

## 【大会実行委員】

委員長	池 内 一 郎	長崎日本大学高等学校・長崎日本大学中学校 校長
副委員長	中 村 浩	佐世保実業学園 理事長 佐世保実業高等学校 校長
委 員	奥 田 修 史	奥田学園 理事長 創成館高等学校 校長
〃	渡 川 正 人	瓊浦高等学校 校長
〃	前 田 功	長崎玉成高等学校 校長 長崎玉成高等学校附属中学部 校長
〃	久 保 純 一	長崎女子商業学園 理事長 長崎女子商業高等学校 校長
〃	佐 古 照 美	純心女子高等学校・純心中学校 校長
〃	西 経 一	長崎南山学園 理事長 長崎南山高等学校・長崎南山中学校 校長
〃	望 月 聡	聖和女子学院高等学校・聖和女子学院中学校 校長
〃	後 藤 慶 太	鶴鳴高等学校 校長
〃	齋 藤 州 澄	鎮西学院高等学校 校長
〃	溝 上 輝 幸	海星高等学校・海星中学校 校長
〃	福 田 道 夫	精道三川台高等学校・精道三川台中学校 校長
〃	福 田 鉄 雄	長崎南山高等学校・長崎南山中学校 副校長
〃	玉 城 雄 一	純心女子高等学校・純心中学校 教頭
〃	中 島 寛	長崎南山高等学校 教頭

# 第53回九州地区私学教育研修会長崎大会

## 実施要項

- 1 研修目標 「私学無償化の時代 ～改めて、選ばれる私学を目指して～」
- 2 会 期 令和8年7月30日（木）～31日（金）
- 3 会 場 出島メッセ長崎（長崎市尾上町4-1）
- 4 対 象 者 私立学校の管理者（理事長・校長・事務長等）、教員、事務職員等
- 5 参加者数 250名
- 6 基本日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7月30日（木）		受 付	開 会 行 事	全 体 会 記 念 講 演	昼 食	部会（3部会に分かれる）			
7月31日（金）		部会 （3部会に分かれる）		閉 会 行 事					

※ 部会の開始時間や終了時間など詳細については、各部会の実施案内をご確認ください。

## 7 部 会

- 1 私学の魅力を考える研究部会 「時代の変化に応える私学のあり方とは」
- 2 ことばで導く教育部会 「デジタル時代、ことばが紡ぐ人・ものとの関係」
- 3 メンタルを支える教育部会 「生徒の『心の成長』に向けた実践的アプローチ」

# 全 体 会

令和8年7月30日(木) 10時～12時  
出島メッセ長崎 101会議室

## 1 開会式 (10時～10時30分)

- (1) 開会のことば 大会実行委員長 池内 一郎
- (2) 主催者あいさつ 九州地区私立中学高等学校協議会  
会長 小山 康直
- (3) 実施県あいさつ 長崎県私立中学高等学校協会  
会長 菅 沼 宏比古
- (4) 来賓祝辞 長崎県知事 平田 研 [予定]
- (5) 次回実施県あいさつ 宮崎県私立中学高等学校協会  
会長 後藤 洋一  
(令和10年度九州地区私学教育研究集会開催県)
- (6) 閉会のことば 大会実行副委員長 中村 浩

## 2 記念講演 (10時30分～12時)

- (1) 演題 「これからの私学に求められる魅力とは  
～私学人に必要とされるもの～」
- (2) 講師 吉田 晋 先生 (日本私立中学高等学校連合会 会長)

### 【経歴】

昭和51年 慶応義塾大学法学部卒業  
昭和53年 富士見丘中学高等学校主事  
昭和58年 富士見丘中学高等学校副校長  
昭和63年 学校法人富士見丘学園理事  
平成5年 富士見丘中学高等学校校長  
平成7年 学校法人富士見丘学園理事長

### 【公職等】

平成8年 東京都私立学校審議会委員  
平成20年 日本私立学校振興・共済事業団運営審議会委員  
平成20年 日本私立中学高等学校連合会会長  
平成20年 財団法人日本私学教育研究所理事長  
平成30年 全国私立学校審議会連合会副会長  
令和3年 中央教育審議会委員

◎ 全体会司会・進行 橋之口 裕太 (九州文化学園高等学校 校長)

# 私学の魅力を考える研究部会

- 1 **テーマ** 「 時代の変化に応える私学のあり方とは 」
- 2 **会場** 出島メッセ長崎 103会議室（31日）
- 3 **対象者** 私立学校の管理者（理事長・校長・事務長等） 等
- 4 **参加者数** 80名

## 5 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7月30日 (木)		受付	開会行事	全体会 記念講演	昼食		視察		
7月31日 (金)		開会行事	講演	質疑	閉会行事				

## 6 視察

プランA 世界遺産『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』  
構成資産 軍艦島（端島）

プランB 世界遺産『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』  
構成資産 出津教会堂等  
& 遠藤周作文学館

※プランAが天候不順等により実施できない時は、プランBに変更

## 7 講演

演題 「自らの学校の魅力を語る」

講師 田原 俊典 先生（修道中学校・修道高等学校 校長）

### 【プロフィール】

昭和 31 年 島根県生まれ。

昭和 56 年 関西学院大学文学部日本文学科 卒業

昭和 56 年 岡山白陵中学校・高等学校 教諭

昭和 61 年 修道中学校・修道高等学校 教諭

平成 13 年 修道高等学校 教頭

平成 13 年 学校法人修道学園 理事・評議員

平成 18 年 修道中学校・修道高等学校 校長兼 修道高等学校 教頭

平成 19 年 修道中学校・修道高等学校 校長

## 8 運営委員

部会長	奥田 修史	奥田学園 理事長 創成館高等学校 校長
副部会長	渡川 正人	瓊浦高等学校 校長
委員	前田 功	長崎玉成高等学校 校長 長崎玉成高等学校附属中学部 校長
〃	佐古 照美	純心女子高等学校・純心中学校 校長
〃	齋藤 州澄	鎮西学院高等学校 校長
〃	畑野 公昭	瓊浦高等学校 副校長
〃	玉城 雄一	純心女子高等学校・純心中学校 教頭
〃	袖山 道典	純心女子高等学校・純心中学校 教諭
〃	平山 理	純心女子高等学校・純心中学校 教諭

9 司会・進行 玉城 雄一（純心女子高等学校・純心中学校 教頭）

# ことばで導く教育部会

1 **テーマ** 「デジタル時代、ことばが紡ぐ人・ものとの関係」

2 **会場** 出島メッセ長崎 102会議室

3 **対象者** 私立学校の教員 等

4 **参加者数** 85名

## 5 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
		30	30	50	30		40	40	50	30	17		
7月30日 (木)		受付	全体会 開会行事		記念講演	昼食	開会行事	講演 1	休憩	実践発表 1	休憩	パネル ディスカッション	諸連絡
7月31日 (金)		講演 2	休憩	実践発表 2	閉会行事								

※実践発表1, 2は質疑を含む

## 6 講演

講演1 演題 「紙かデジタルか、最適な環境で学ぶ  
～これからの読書と読書環境を考える～」

講師 柴田 博仁 先生  
(群馬大学大学院情報学研究科 教授)

### 【プロフィール】

2003年、東京大学大学院 工学系研究科 博士課程修了。博士(工学)。  
富士ゼロックス株式会社を経て、2020年10月から群馬大学 情報学部 教授。  
2026年4月から現職。  
専門はユーザインターフェースデザインと認知科学。  
書籍に『ペーパーレス時代の紙の価値を知る』(産業能率大学出版部、2018)  
など。  
趣味は温泉、日本酒、歴史、読書。夢は、前橋を「本のまち」にすること。

講演2 演題 「学校教育は教師・子どもへ何を与え得るのか  
～教師・元生徒の『ことば』から考える～」

講師 畑中 大路 先生  
(長崎大学大学院教育学研究科 准教授)

## 7 実践発表

実践発表①「AI時代における探究的学びを支える読書教育の在り方について」  
中島 寛 先生 (長崎南山高等学校 教頭)

実践発表②「発信力の育成を目指して  
～CAT Projectの取組～」  
今井 慎一郎 先生 (長崎日本大学中学校 教頭)

## 8 パネルディスカッション

テーマ 「デジタル時代における『ことば』の教育」

## 9 運営委員

部会長 西 経 一 長崎南山学園 理事長  
長崎南山高等学校・長崎南山中学校 校長

副部会長 福田 道夫 精道三川台高等学校・精道三川台中学校 校長

委員 溝上 輝幸 海星高等学校・海星中学校 校長

〃 福田 鉄雄 長崎南山高等学校・長崎南山中学校 副校長

〃 肥田 剛一 長崎日本大学高等学校 教頭

〃 今井 慎一郎 長崎日本大学中学校 教頭

〃 中島 寛 長崎南山高等学校 教頭

〃 秀島 正俊 長崎南山中学校 教頭

10 司会・進行 肥田 剛一 (長崎日本大学高等学校 教頭)  
秀島 正俊 (長崎南山中学校 教頭)

# メンタルを支える教育部会

1 テーマ 「生徒の『心の成長』に向けた実践的アプローチ」

2 会場 出島メッセ長崎 107会議室

3 対象者 私立学校の教員 等

4 参加者数 85名

5 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
7月30日 (木)		受付	全体会 開会行事 記念講演		昼食	開会行事	講演1	休憩	実践発表①	休憩	質疑	
7月31日 (金)			講演2	休憩	実践発表②	閉会行事						

※実践発表2は質疑を含む

6 講演

講演1 演題 「7つの習慣について」

講師 川村 洋行 先生

(株式会社FCE エデュケーション事業本部 文教事業部  
副部長兼学校コンサルティンググループ長)

## 【プロフィール】

1972年生まれ 新潟県出身

大卒後、金融機関に携わり、その後東証一部上場経営コンサルティング会社に就社

2012年より同社の教育事業に携わり「7つの習慣J」を中心とした子どもたちの主体性を育む教育を提供するとともに、ご導入いただいた私学の教員育成や生徒募集、保護者との関係強化といった側面にも踏み込み、生徒の成長と学校の成長、その両方を実現するために支援を行っている

講演2 演題 「ポジティブ教育が拓く未来：世界が進む道、日本が歩み始めた道」

講師 宇野 カオリ 先生  
(向陽学園ウェルビーイング教育センター長、  
一般社団法人日本ポジティブ心理学協会 (JPPA) 代表理事)

【プロフィール】

幼少期よりケニアをはじめ世界各国に在住。  
米国ペンシルベニア大学大学院で、ポジティブ心理学の創始者マーティン・セリグマン博士らに師事し、ウェルビーイング科学 (Well-Being Science) に関する正規教育を受ける。帰国後、本邦で、教育と実践指導の最前線に立つ。  
米国各州の中等教育の現場で、ポジティブ教育の要であり、レジリエンスとウェルビーイングの向上を目指す実践法として世界最大規模で効果検証されたことで有名な「ペン (ペンシルベニア大学) ・レジリエンス・プログラム (PRP) 」に基づく学校介入研究に従事した。  
国際ポジティブ教育ネットワーク (IPEN) 日本代表。兵庫県芦屋市出身。

## 7 実践発表

実践発表① 「7つの習慣」の模擬授業」

川原 翔 先生 (創成館高等学校 教諭)

実践発表② 「レジリエンス力を高める指導について」  
体験型ワークショップ

近藤 竜彦 先生 (向陽高等学校 副校長)

## 8 運営委員

部会長	久保純一	長崎女子商業学園 理事長 長崎女子商業高等学校 校長
副部会長	後藤慶太	鶴鳴高等学校 校長
委員	望月聡	聖和女子学院高等学校・聖和女子学院中学校 校長
〃	久重路公貴	長崎女子商業高等学校 教頭
〃	前田洋	鶴鳴高等学校 教頭
〃	安武希	創成館高等学校 教諭
〃	山田祐依	創成館高等学校 教諭
〃	岩永綾香	向陽高等学校 教諭
〃	石橋彩子	向陽高等学校 教諭
〃	馬場紫帆	向陽高等学校 教諭
〃	竹本千倅	向陽高等学校 教諭
〃	小原克憲	聖和女子学院高等学校・聖和女子学院中学校 教諭

9 司会・進行 久重路公貴 (長崎女子商業高等学校 教頭)  
前田洋 (鶴鳴高等学校 教頭)

## 大会誌編集委員会

編集委員長 溝上 輝幸 (海星高等学校・海星中学校 校長)

編集副委員長 鶴野 文敬 (海星高等学校・海星中学校 副校長)

編集委員 玉城 雄一 (純心女子高等学校・純心中学校 教頭)

編集委員 中島 寛 (長崎南山高等学校 教頭)

編集委員 小原 克憲 (聖和女子学院高等学校・聖和女子学院中学校 教諭)

# 第53回九州地区私学教育研修会

令和8年度

長崎大会

## 大会参加のご案内

令和8年7月30日（木）～31日（金）に長崎市で開催される「第53回九州地区私学教育研修会長崎大会」について、次のとおりご案内いたします。皆様、ふるってご参加ください。

### 1. 参加費についてのご案内

大会参加費	：	私学の魅力を考える研究部会	10,000円
		ことばで導く教育部会	8,000円
		メンタルを支える教育部会	8,000円

### 2. お申込み方法

◎大会への参加申込みにつきましては、大会申込書を長崎県私学協会のHPからダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、

長崎県私学協会の専用アドレス (kenshukai@nagasaki-shigaku.jp) まで送信ください。

◎長崎県私学協会では、着信を確認次第、着信確認のメールをお送りします。

◎電話によるお申込みは、トラブルの原因となりますので、ご遠慮ください。

◎お申込み締切日：**令和8年6月15日（月）**

### 3. 大会参加証・請求書の送付並びにお支払方法について

◎大会参加証及び請求書は、大会の3週間前頃に郵送にてお送りする予定です。

請求書記載の指定口座へ期日までにお振込みください。

なお、振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。

（当日のお支払いは受け付けておりませんので、ご注意ください。）

◎お振込みの際、振込ご利用明細票をもって領収証に替えさせていただきますので大切に保管ください。

◎大会1週間前になりましても書面が到着しない場合は、お手数ですが長崎県私学協会までご連絡ください。

### 4. 予約の変更・取消について

参加者の変更や取消が発生した場合、大会参加申込書と同じ方法で、変更・取消の手続きをお願いします。なお、変更・取消手続きのメールが届いた場合も、着信確認のメールをお送りします。なお、7月27日（月）以降の変更・取消については、返金できませんので、予めご了承願います。

## 5. 宿泊について

宿泊が必要な皆様につきましては、各人で手配していただくか、JTB 長崎支店の宿泊プランのご活用をお願いいたします。JTB 長崎支店からの予約プランの案内は、4月にフライヤーと一緒に送付いたしております。なお、申込期限は5月28日となっております。詳しくは、長崎県私学協会のHPをご覧ください、必要な方は、宿泊申込書をダウンロードして、必要事項をご記入の上、JTB指定のアドレスまで送信してください。

## 6. 昼食（弁当）の注文について

研修会初日の昼食については、会場外に食事に出かける時間がないため、弁当（1,500円相当）を用意いたしております（いずれもお茶等ドリンク付き）。参加申込書の昼食の欄に、ご希望の弁当を記入してください。また、お弁当の種類は、業者の都合により変更されることがあり、ご希望に添えない場合もありますので、予めご了承ください。

A 幕の内弁当 ※ホテル特製の弁当

B 長崎いろどり弁当

※長崎の郷土料理（豚角煮、皿うどん、浦上そばろ、ハトシ）を盛りつけたご当地弁当

C ご当地グルメのトルコライス弁当

※トルコライス（チキンピラフにパスタとカツ）を、自家製デミグラスソースでどうぞ。

なお、弁当代は参加費に含まれておりますが、注文されない場合でも返金はできかねます。

## 《九州地区私学教育研修会参加申込のフロー図》

